

KYOのあけぼの21

第71号

平成23年度「KYOのあけぼの大学」

- 基礎講座
- チャレンジ支援講座 地域おこしセミナー

DV防止啓発講座

◆「KYOのあけぼの大学」基礎講座

「KYOのあけぼの大学」基礎講座は市町村と京都府男女共同参画センターから京都が協働実施（京都府の委託事業）している講座です。本年度は7月～2月に府内の5市町で行われました。

会場	開催日	テーマ	講師
京丹後市	H23/7月6日 水	女性の視点で考える防災 ～震災の体験と相談を振り返って～	川畠真理子さん (よなか男女共同参画推進センター事業課相談担当主任)
城陽市	H23/7月30日 土	災害と女性 ～防災は日常から始まる～	正井礼子さん (ウィメンズネット・こうべ代表)
宮津市	H24/1月29日 日	楽しくまちづくりの第一歩を！ ～男女で考える防災のまちづくり～	上野 勝代さん (神戸女子大学家政学部教授)
与謝野町	H24/2月10日 金	<基調講演> 家族介護を考える ～安心の介護社会の実現を～ <パネルディスカッション> 住み慣れた地域の中で心豊かに安心して暮らせる町づくり ～介護を通して考える～	津止正敏さん(立命館大学産業社会学部人間福祉学科教授) ・パネラー: 津止正敏さん、太田貴美さん(与謝野町長) 土居正志さん(虹ヶ丘施設長) ・コーディネーター: 浜野令子(京都府男女共同参画センターから京都館長)
福知山市	H24/2月11日 土・祝	災害と女性 ～阪神淡路の経験は活かされたのか？～	正井礼子さん (ウィメンズネット・こうべ代表)

◆チャレンジ支援講座 「地域おこしセミナー」

「地域おこしセミナー」は男女共同参画の視点で地域社会の問題をとらえ、問題解決に向けて行動するスキル、ノウハウを学ぶ講座です。本年度は下記の2会場で実施しました。

会場	開催日	テーマ	内容
与謝野町会場	【第1日目】 2月17日(金) 【第2日目】 2月24日(金) 【第3日目】 3月16日(金)	自分らしく生きる地域づくり ～介護を通して考える～	【第1日目】自分の住んでいる地域を知る ～支援されながら支援する地域づくり～ 【第2日目】見学を通して、地域の課題を発見 【第3日目】プラットフォームづくりへ ～どんなテーマで、連携・協働ができるかを探る～
舞鶴市会場	3月17日(土)	通販向け商品とは！ ITによる広報のデモンストレーション	◆京都ものがたり協同体について NPO法人京都女性起業家協議会 理事長 篠原 美佐子 さん ◆「まいづる肉じゃが」の全国ブランドへの道 NPO法人まいづるネットワークの会 理事長 伊庭 節子 さん ◆ワークショップ「通販向け商品とは」～IT活用によるデモンストレーション NPO法人京都女性起業家協議会 理事長 篠原 美佐子 さん 閔 ナレ さん NPO法人まいづるネットワークの会 理事長 伊庭 節子 さん

◆DV啓発講座 「DVを考えるつどい」

「DVを考えるつどい」は、「配偶者等からの暴力をなくす啓発期間(11/12～11/25)」に開催している講座です。本年度は府内2市町(城陽市・与謝野町)との共催で実施しました。

会場	開催日	テーマ	講師
与謝野	11月17日 木	暮らしの中でDVを考える ～地域で気づき、つながり、支える～	竹之下雅代さん(ウィメンズカウンセリング京都カウンセラー)
城陽市	11月18日 金	DVと児童虐待 暴力はなぜおこるのか? ～暴力の連鎖を防ぐために～	楠神小夜子さん(ウィメンズカウンセリング京都カウンセラー)
上記のほか DV被害女性の心理的回復を支援するためのグループワーク(南部地域で5回実施 11月～1月) DV被害者への支援を学ぶ講座 福知山市(2月13日)、京丹後市(2月27日)、舞鶴市(3月5日)も実施しました。			

「KYOのあけぼの大学」基礎講座

防災・男性介護と地域づくり

京丹後市会場

女性の視点で考える防災
～震災の体験と相談を振り返って～

平成23年7月6日(水)

峰山地域公民館

講師 川畠 真理子さん

とよなか男女共同参画センター事業課相談担当

川畠講師自身の阪神淡路大震災の体験や相談から見えてきた女性問題や男性問題、家族のあり方などを基に、東日本大震災をも踏まえて女性の視点から今後の震災等の防災を心がける話をされ、受講者の共感するところが多くありました。



城陽市会場

災害と女性
～防災は日常から始まる～

平成23年7月30日(土)

城陽市男女共同参画支援センター
ぱれっとJOYO

講師 正井 礼子さん

ウイメンズネット・こうべ代表

防災や復興対策に女性の参画を！防災は日常的な取り組みから

阪神大震災で障がい者、子ども、外国人など支援ネットワークが生まれたが、女性の困難な状況がとりあげられなかった。東日本大震災で避難所など16年前と変わらない状態。トイレの男女別仕切りがない。入浴ができないなど…。被災地において女性の人权をまもるために、防災や復興対策に女性が参画し、性別に配慮した避難所の設計や物資の備蓄、支援の責任者に女性を登用するなどが必要です。



災害時に突然女性の人权が守られ福祉が充実するわけではなく、平常時から福祉が充実しておれば、災害時もそれぞれの人权が守られ福祉も充実したものになると思います。
日頃のネットワークが災害時に生きてきます。

宮津市会場

楽しくまちづくりの第一歩を！
～男女で考える防災のまちづくり～

平成24年1月29日(日)

みやづ歴史の館

講師 上野 勝代さん

神戸女子大学家政学部教授

日頃から地区ごとの避難訓練が行き届いていることからワークショップでは、宮津市へのお願いや自分でできること、地域できること、自助・公助・共助について盛んに話し合われた。

上野先生から、共助が進んでいることが素晴らしいと思う。けれども、天候の違う日に避難場所まで歩いてみると、本当に自分の家は大丈夫なのか自助の確認を常にしましょう。自助・共助・公助が一体となりともに生き延びていきましょう。

とアドバイスされた。



意見を出し合いました。

福知山市会場

災害と女性
～阪神淡路の経験は活かされたのか？～

平成24年2月11日(土・祝)

大江地域公民館

講師 正井 礼子さん

ウイメンズネット・こうべ代表

被災地(災害時)の女性をとりまく現状や課題、復興(町づくり)について話された。阪神淡路大震災の時に女性相談をしておられた経験から性被害等について、事実に基づいたお話をうながすために参加者は、神妙な面持ちでお話を聞いておられた。

* 地元の消防団員の方にも男女共同参画の視点をもってもらおうと参加呼びかけをしました。



与謝野町会場

住み慣れたこの町で安心して暮らせる町づくり
～介護をとおして考えよう～

平成24年2月10日(金)

生涯学習センター 知遊館

基調
講演テーマ
講 師家族介護を考える
～安心の介護社会の実現を～

津止 正敏 さん

今や3人に一人が男性介護者！！



ひと昔前までは、女性にまかせがち、女性だけの問題だった介護を、今では働いている男性も受けもっている。介護は、人間だけの営み。これまで介護はつらくて嫌なもの、排除したいものとされてきたが、ケアを組み込んだ生き方や働き方の方が人生を豊かにできるのではないか。仕事と介護の両立ができる社会、地域づくりがこれからの課題。

住み慣れた地域の中で心豊かに安心して暮らせる町づくり
～介護を通して考える～

テーマ
パネラ
ー 津止 正敏 さん(立命館大学 産業社会学部 教授)
土居 正志 さん(高齢者総合福祉施設 虹ヶ丘施設長)
太田 貴美 さん(与謝野町長)

コーディ 浜野 令子
ネーター (京都府男女共同参画センター らら京都館長)

パネルディスカッション

[パネルディスカッション]
太田町長の介護体験や「私が入りたくなる施設をつくりたい」との熱い思いで13年前に虹ヶ丘づくりがスタートした。



虹ヶ丘のコンセプトは、ホームのようなまち、まちのようなホーム。

地域と専門家(施設)と行政が、入居者と家族と職員が、人と人がつながって誕生し発展してきた施設づくり。

今建設中に4つの社会福祉事業団がコラボした全国初の「地域共生型福祉施設」のオープンを待ちにしていると開場から声が上がった。

チャレンジ支援講座 「地域おこしセミナー」

与謝野町会場

第1回目

自分の住んでいる地域を知る
～支援されながら支援する地域づくり～とは？

初めて男性の介護問題をとりあげました！

平成24年2月17日（金）
野田川わーくばる（与謝野町）



「まちのようなホーム」で普通の暮らし

高齢者総合福祉施設 虹ヶ丘 施設長 土居正志さん

今や介護をしている人の3人に1人が男性。慣れない介護、家事も大変、近所づきあいも苦手、仕事は抜けられない。
そして、高齢者虐待をするのは、実の息子や夫で、なんと男性が6割。
(ショックでした)

虹ヶ丘のコンセプトは「ホームのようなまち、まちのようなホーム」
まちの中の自宅でもホームと同じレベルの介護が受けられ、入居した施設でも
「普通のあたりまえの暮らし」を支援する施設となること。
自分が入りたくなるようなホームをつくりたい！！

「ひとりぼっちをなくす取り組み」

サポートい輪や 代表世話人 永濱誠彦さん

買い物に行きたいが遠い。薬を取りに行きたいけどアシがない。
困った時にお頼りできる人が近所にいない・・・。
自分の住んでいる町のために何かできることがないか?
助ける人も助けられる人も会員に。100人のグループサポート「い輪や」が誕生！！



第2回目

見学を通して、地域の課題を発見

平成24年2月24日（金）

京丹後市弥栄町 だいまるしようゆCafe



丹後で前向きに生きる
素敵な人々との出会い
がありました。



大改造！劇的ビフォーアフターで大賞を受賞した
「だいまるしようゆCafe」



↑ 本日のランチ

なんと4世代のたまり場

本業は醤油屋！
入りにくい店のイメージを取りはらうため、コーヒーを一杯でも飲んでもら
おうと喫茶店をつくり、さらにキッズルームも作った！近所のママ友も増えた♪
お年寄りの方も孫を連れて来てくれる♪
メッチャうれしいわ～♪

京丹後市弥栄町 京丹後市弥栄生きがい交流センター

岡本区長
遊んで育った野間のキレイな川
こそふるさと！
次世代に残したい野間！

10年後には、
鍾草ひきをする人がいない・・・餘言する人がいない・・・
福祉を支える人がいない・・・秋祭り、運動会などができるない

今やるべきこと！
後継者育て！野間に移り住んでくれる人を暖かく受け入れる気持ちを持つ。
若い人の仕事や家などの生活基盤を整える！
僕の元気な活動の原点は！この野間！！

生きがいデイに参加しました！



90～70歳代の素敵な女性たち。
布ぞうりづくり等特技をお持ちでした。
とにかく楽しそう！！
京丹後市の社会福祉協議会で、今
「野間を目指そう！」
が、合い言葉になっていると参加者が
帰りのバスで話してくれました。

養護老人ホーム満寿園
施設長 稲生弘美さん



限界集落なんて
言わせない！！

地域で暮らしたい。
地域を愛している。
何時までも頼なじみの仲間と楽しみたい♪
そんな想いの高齢者と共に週1回「生きがいデイ」
を開催している。月1回は皆と買い物へ。

第3回目

プラットフォームづくりへ ~どんなテーマで、連携・協働ができるかを探る~

平成24年3月16日(金)
野田川わくばる



お年寄りも子どもも、だれもが自由にたまれる場がほしい。
「たまり場」はどうしたらできるか?一人ではできない。
手をつなぎ信頼関係をつくる！

高齢者総合福祉施設虹ヶ丘 施設長 土居正志さん
与謝野町福祉課 主幹 浪江昭人さん
サポートいんや 代表世話人 永濱誠彦さん
ワインズやさか野 代表 今西芽穂さん
京都府男女共同参画センター 館長 浜野令子



「どこでも福祉」の与謝野町福祉課の浪江昭人さん
「終の住み処は与謝野町」一地域の一員として暮らせる環境づくり
「垣根を超えた福祉のまちづくり」障害・高齢・児童の垣根を超えた施設を建設中
すごい施設ができる事が自慢ではない、こんな施設ができる地域が自慢！
・普段から一緒にやっていったからできた
・皆と考えたら工夫がみつかった
・地域住民と行政と専門家が手を組むことがポイント



イヤア～こんなに施設をつくるのに努力と苦労があったことを初めて知った！
と86歳のちおりさんの目が輝く☆
女性は生きにくい。本当は悔きたかった。女として生まれて好きな事ができなかった・・・
嬉しいで絶頂面で一番苦勞した。・・・が、色々な役を引き受けた結果、今、
自分のやりたいようにできる。私はハジをかくことを恐れない！

今後は、「たまり場」づくり。誰でもいい！寄って開理して食べて・・・

住み開き=住みながら開いていく=たまり場が開後のはやり言葉に



平成24年3月17日(土)
毎日新聞掲載

拡大 クリック

舞鶴市会場

平成24年3月17日(土) フレアス舞鶴

通販向け商品とは！～ITによる広報のデモンストレーション～

参加者の作品を持ち寄り、みなさんで意見を出し合いました。



アロマ・ハーブティー
値段付けをどう
しようかな～



種子島から安納芋。
種子島と京都の
コラボがしたい！
販路先をどうしよう～



布の小物。
写真技術がナイ！
注文が入った時に対応
できるかな～？



米粉のパンを作ろう！
コレはピタパン。
生産する場所や種か一緒に
やってくれる人、いないかな～



ビーズのアクセサリー。
今は教室を開いています。
生産が一気にできない！

元祖！
舞鶴の肉じゃが！
やっぱり舞鶴は
肉じゃがですね！！



本日の講師
NPO法人まいづるネットワークの会
理事長 伊庭節子さん

皆さん、伊庭さんに商品の相談をされていました。
伊庭さんもスパッとお答えされていました。



<京都ものがたり>
4月には、100アイテムを目指しています。
本日の講師



ITを使って通販のデモンストレーションを行いました。
なかなか商品の見せ方は難しい～
講師：NPO法人京都女性起業家協議会 ミン・ナレさん
とてもわかりやすく楽しく学ぶことができました。

DV啓発講座

DV啓発講座「DVを考えるつどい」が、配偶者等からの暴力をなくす啓発期間(平成23年11月12～11月25)に、府内2市町(城陽市・与謝野町)との共催で開催しました。

与謝野町

平成23年11月17日(木)

生涯学習センター 知勇館 研修室

暮らしの中でDVを考える
～地域で気づき、つながり、支える～

講 師

竹之下 雅代 さん

ウィメンズカウンセリング京都カウンセラー

DVは、個人の問題ではなく、社会全体で取り組まなければならない問題です。被害者は、恐怖や不安、孤立無援感を抱えており、「相談できない・逃げられない心理状態」にあります。また、PTSD(心的外傷後ストレス障害)の発症率は、交通事故や自然災害では1割前後であるのに対して、強姦や虐待・DVによる発症率は約4割となっています。被害者は、DVから逃れた後も精神症状が続き、経済的自立が難しい等様々な要因により、新しい生き方を選択する必要があります。被害者が声をあげやすい社会・周りが理解する社会をつくることが大切です。



城陽市

平成23年11月18日(金)

城陽市男女共同参画センター
ぱれっとJOYODVと児童虐待 暴力はなぜおこるのか？
～暴力の連鎖を防ぐために～

講 師

楠神 小夜子 さん

ウィメンズカウンセリング京都カウンセラー

児童虐待防止法では、子どもの目前でのDVも、児童虐待と定義付けられています。「DVを目撲する」「直接の暴力被害」「保護の目が届かない」など、DVにより子どもの養育環境が失われています。しかし、暴力のある家庭で育っても、大人になって暴力をふるわずに子育てや対等な人間関係を築いている人はたくさんいます。暴力の世代間連鎖を断つためには、暴力を受けた親と子どもに対するカウンセリングや地域社会からの適切なサポートにより、暴力という手段をとらずに自分の思いを表現するコミュニケーションを再学習することが必要です。

[このページのトップへ](#)



◇らら京都手づくり市 5月19日(土)

10:00~14:00 開催!

起業をめざす女性たちによる手づくり市です。 詳細はこちらをクリック ➡

手づくり市

出展品は
お楽しみ!



◇京都府女性のための起業セミナー 13期生募集

「私だから出来ること」をきっかけに、起業への第一歩を踏み出してみませんか。

あなたが目指す起業の“はじめの一歩”を応援します！

詳細はこちらをクリック ➡

起業
セミナー

このページのトップへ

[京都府男女共同参画センター](#)